

元副社長が語るウォルマートの物流 戦略研究セミナーを開催

売上高二兆円を誇る世界最大の小売業である米国ウォルマート。物流マンなら一度は同社の先進的な物流システムが解説されているという触れ込みの書物を手にしたことがあるのではないかとはいえ、世に溢れる「ウォルマート本」は期待外れのものばかり。しかしそれもそのはず。ウォルマートの社内では、ロジスティクス戦略の詳細を外部の人間に漏らすことが固く禁じられているのだから。

それでもウォルマートのロジスティクスを知りたい。そんな勉強熱心な読者の方々にピッタリなのが今回紹介する「ウォルマート戦略研究セミナー」だ。講師はウォルマート元副社長のLarry Fanneli氏。ウォルマートに二十三年間在籍し、ビジネス開発担当副社長、在庫管理担当副社長などを歴任した同氏が来日。「ウォルマートの強さの秘密」をロジスティクス戦略を含めた様々な角度から分析、解説してくれる。外部への情報漏えいは御法度なのは。その心配はいらない。同

社の場合、OBがウォルマートについて語ることは問題にならない。しかも今回のセミナー開催は米本社から了承を得ているとのこと。セミナーの企画者によると、元副社長は新聞や雑誌、書籍などからでは知り得ないウォルマートの特別な情報を参加者たちに提供すると約束してくれたという。

約六時間に及ぶレクチャーの中で語られるのは、「ウォルマート」は日本市場で何をしようとしているのか、「日本でもEDLP（エブリデー・ロー・プライス）を推進するのか」など。このほかウォルマートで採用されている在庫管理手法などロジスティクス関連のノウハウも披露される予定だ。

このセミナーは五月二〇日、東京の「ホテル・モントレ銀座」で開催される。時間は正午から午後六時まで。通訳あり。参加費は三万九〇〇〇円（税別、昼食含む、特定団体の所属者は割引あり）。会場の都合で定員に達した時点で参加募集を締め切る。お申し込みはお早めに。

問い合わせ先

F MU (エフエムユ)

電話番号 〇三(三六六八)四八二一

「リサイクルと物流」に関する講演会を開催 実践ロジスティクス研究会

諏訪東京理科大学の津久井英喜教授が代表幹事を務める「実践ロジスティクス研究会」は、五月七日に月例の勉強会を開催する。今回のテーマは「リサイクルと物流」。講師は素材リサイクルの分野で長年、精力的な活動を続けるエムケイワイエコの小松崎克正氏。

この研究会は、団体名にある通りロジスティクスの「実践」と「研究」を目的として約四年前に発足した。物流を共通のテーマとする有志の集まりで、将来はNPO法人として活動することにも検討中の、草の根、勉強会である。東京と諏訪（長野県）の二カ所で活動しており、東京では曙ブレイキ工業出身の中村奎吾氏が、諏訪ではエプソンロジスティクス出身の野澤彰治郎氏が世話役を務めている。

最近ではとくに環境と関わりのある

物流について研究している。代表幹事を務める津久井教授は同方面の専門家であり、日本ロジスティクスシステム協会が進める「ロジスティクス環境会議」の共通基盤整備委員会委員長や、日本物流団体連合会の「物流環境管理士専門委員会」委員長を務めている。

また、五月七日の勉強会で講師を務める小松崎氏は、知る人ぞ知る素材リサイクルの専門家だ。これまで多様な金属やプラスチックのマテリアリサイクルに道筋をつけてきた実績を持ち、総合商社や大手メーカーから知恵袋と頼られる存在。静脈分野の法律にも詳しく、講演では企業がトラブルに巻き込まれないための工夫なども紹介してくれるはずだ。

当日の会費が二〇〇〇円ということからも分かる通り、この会合は営利を目的としたものではない。運営も有志が手弁当で行っているため、イベント会社やマスコミなどが主催する洗練された講演会とは異なる。ただし、ざつとくばらんな交流を通じて人脈を上げ、物流と環境問題について考えたいという人は一度、顔を出してみる価値はあるだろう。六月以降も六月四日と七月九日に同じ会場で開催を聞くことが決まっているが、内容はまだ未定。問い合わせは上記の電話まで。

日時	2004年5月7日(金) 18:30~20:30(18時受付開始)
場所	富士火災銀座日ビル 10階会議室 東京都中央区銀座2丁目12-18(地下鉄有楽町線「銀座一丁目」、または都営浅草線「東銀座」から徒歩数分)
定員	80人程度
参加料	2000円 (基本的に当日の支払いでOK)
講師	エムケイワイエコ(株) 技術顧問 小松崎克正氏

問い合わせ先

電話 090(3520)8748

担当 中村奎吾(実践ロジスティクス研究会参与)